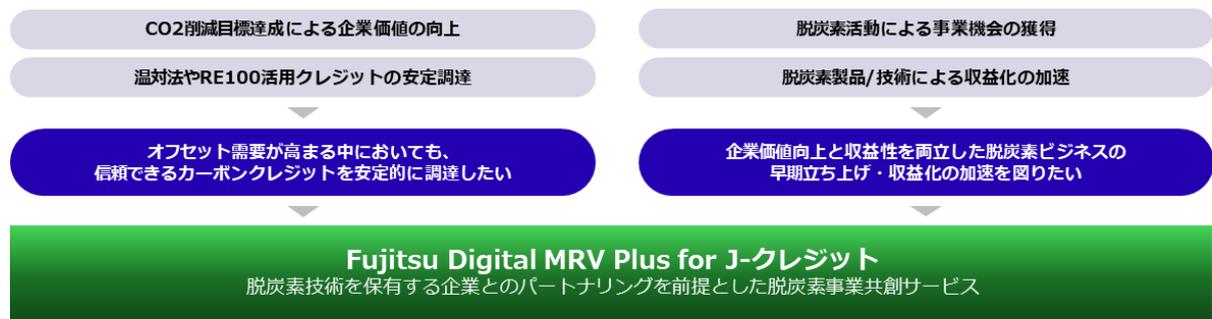


CO2排出量の算定・報告・検証（MRV）を デジタル化する脱炭素事業の共創実現サービス

カーボンをクレジットによる脱炭素活動の価値化は、経済活動に環境保全の視点を組み込み、持続可能な社会への移行を促進する手段として重要性を増しています。国内クレジット制度であるJ-クレジットは、来たるGX-ETSの本格稼働やサステナビリティ開示義務化に向け需要が増加している一方、その事業化には煩雑な認証申請プロセス、創出したクレジットの信頼性に関する指摘等、多くの障壁が存在します。

本サービスは、CO2排出量の算定・報告・検証（MRV）のプロセスをデジタル化し、多くの手続きを自動化することで企業のJ-クレジット創出におけるプロセスの負荷削減と信頼性の向上を実現します。

カーボンをクレジットによる脱炭素社会実現を目指す共創型サービス



サービスの特徴

- IoT設備と連携したデータ自動取得
申請情報取得のためのコスト削減および、データの信頼性向上を実現
- 算定・報告・検証の自動化
申請手続きの効率化に加え、誤入力等による審査指摘対応の負荷や、審査/認証に必要な期間の大幅な削減を実現
- 成果報酬型サービス
創出されたJ-クレジットに応じた費用請求により新規事業の早期立ち上げが可能

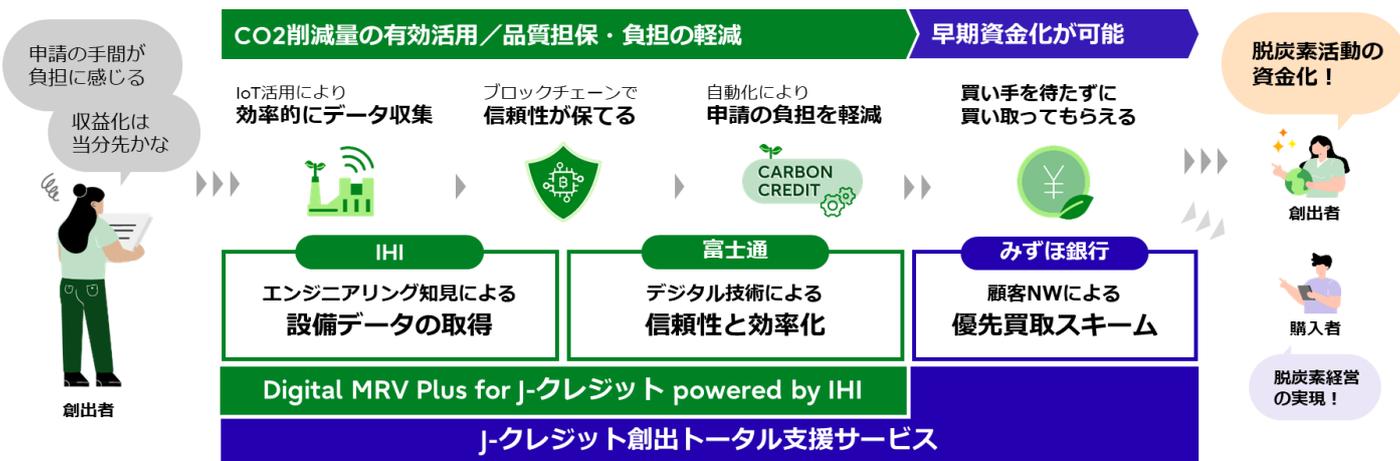


※現時点は太陽光発電設備の導入の方法論によるJ-クレジット創出が対象

みずほ銀行・IHI 共同事業：J-クレジット創出トータル支援サービス

～ Digital MRV Plus for J-クレジット powered by IHI ～

IHI様、みずほ銀行様との3社によるJ-クレジット創出の手续効率化、早期資金化を支援する共創サービス



サービスメニュー

区分	サービス名	実施内容
初期	Digital MRV Plus for J-クレジット活用支援サービス	お客様のシステム環境やJ-クレジットビジネス状況のヒアリングを行い、Digital MRV Plusを利用したJ-クレジット申請業務の適合検討および既存システムとのデータ連携可否検討を支援。 導入が可能と判断できた場合には、システム要件整理や導入計画の策定まで実施。
	Digital MRV Plus for J-クレジット連携システム構築サービス	活用検討支援サービスにより、お客様システムとのデータ連携が可能と判断され、要件整理が完了していることを前提として、Digital MRV Plusシステムと既存環境の接続環境の構築を支援。
月額	Digital MRV Plus for J-クレジット基本サービス（従量成果報酬）	指定要件をクリアしたモニタリングシステムを保有するお客様が本サービスへ接続することで、デジタルMRVによるJ-クレジット創出事業を実現。 サービス費用は、創出できたJ-クレジットの量に応じた従量成果報酬型のサービス。
	Digital MRV Plus for J-クレジットモニタリングベンダー向け運用支援サービス	連携システム構築サービスにて構築したシステム環境に関するQAサポートを提供。

J-クレジットの創出・脱炭素活動の価値化にお困りでしたら、是非お問合せください

太陽光発電設備に関する方法論のJ-クレジットの創出を検討されているお客様、その他方法論によるJ-クレジット事業の立上げをご検討のお客様、環境省よりMRV支援システム運営事業者に登録される富士通が、事業化の検討を含めご支援致します。

関連情報

プレスリリース：<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2024/09/18.html>

J-クレジット制度（MRV支援システム）：<https://japancredit.go.jp/about/mrv/>

お問い合わせ先

富士通株式会社

富士通コンタクトライン（総合窓口）：0120-933-200

受付時間：9:00～12:00および13:00～17:30（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）

サービス拡販窓口：fj-SX_DigitalMRV@dl.jp.fujitsu.com